

29のサークルが成果を発表

平成21年度須恵町文化協会前期芸能発表会（須恵町文化協会主催）が、7月19日（日）にアザレアホール須恵で行われました。

これは、町の文化発展に寄与するため活動する同協会が、会員相互の連携強化とより一層の向上などを目的に行なっているものです。この発表会に、29のサークルから弦楽や和・洋舞踊、歌謡などの発表がありました。

実行委員長の平野曾元さんは「各サークルの成果を発表できる場として、みんな張りきっています」と話されていました。



練習の成果を発表する文化協会会員

バクハツクラブ 交流大会で優勝

平成21年度福岡県小学生ドッジボール交流大会（同交流大会実行委員会主催）が、8月1日（土）・2日（日）に福岡ヤフージャパンドーム球場で行われました。

この大会に、須恵バクハツクラブ（長澤清美監督）が出場して、見事優勝を勝ち取りました。

この大会は、次代を担う青少年の健全な育成と、地域の活性化を促進するために、県内の小学生を対象に行われているものです。試合は、予選リーグと決勝リーグで争われ、県内から38チームが参加して行われました。



優勝を勝ち取ったバクハツクラブの子どもたち

剣友会九州大会で優勝

第18回J R九州少年剣道大会（J R九州主催）が、8月2日（日）に熊本県の熊本市総合体育館で行われました。

この大会に、須恵剣友会が出場して、小学生団体戦で見事優勝を果たしました。

大会は、九州各県から181チームが参加して行われました。今回の成績は、全国大会優勝チームや同3位入賞チームなどを破ってのものでした。また、この大会で大久保武竜くん（小6）が最優秀選手賞を受賞しました。



強豪チームを破って優勝した剣友会の子どもたち

ふれあい夏祭り大盛況

ふれあい夏祭り（第三小学校区コミュニティ「ふれあいレインボー」主催）が、8月8日（土）に山の神グラウンドで行われました。

この祭りは、同コミュニティと同校区内の6行政区が一緒になって昨年から取り組み行なっているものです。

会場は、やぐらを中心にステージや出店などが準備されました。そして、太鼓やダンス、総踊りなどが行われ、多くの人が訪れていました。

同レインボーの原田謙二会長は「みなさんとともに、地域の優和とみんなの力がこのようにひとつになって、地域の振興にしっかり根をおろしています。今後も、学校と地域がともにひとつになって大きな輪を広げていきたいと思います。」と話されていました。



学校と地域がひとつになって行われた夏祭り

雨の中を疾走

町の無形民俗文化財、上須恵祇園山笠の追い山が、7月26日（日）に行われました。

この祇園山笠は、上須恵山笠保存会（中原尚樹会長）が、毎年7月24日に一番近い日曜日に実施しているものです。

この日は、悪天候のため、コースを一部変更しての追い山となりました。また、こども神輿も中止となりました。

しかし、水法被姿の男衆たちは、重さ1トンを超える飾り山を担いで「オッショイ、オッショイ」と掛け声を掛け合いながら、勇壮に駆け抜けました。



雨の中を駆け抜ける山

水の週間 街頭キャンペーン

毎年8月1日の「水の日」から同月7日までは「水の週間」です。これは、福岡都市圏の生活や産業を支える重要な水資源の、計画的な開発や合理的な水利用、水がもつ多面的な機能の有効活用を推進することを目的に行われているものです。

この水の週間に伴い、期間中の8月3日（月）に、須恵中央駅ほか町内2か所で街頭キャンペーンを行いました。朝7時から町職員がJ R各駅で通勤・通学者を対象に、夕方からはスーパー前で買物客を対象に節水を呼びかけました。



節水を呼びかける庄野副町長（右）